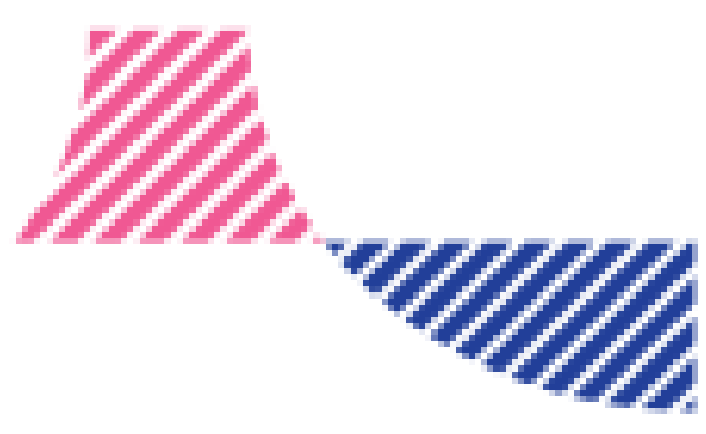




駿河湾海洋DXプロジェクト

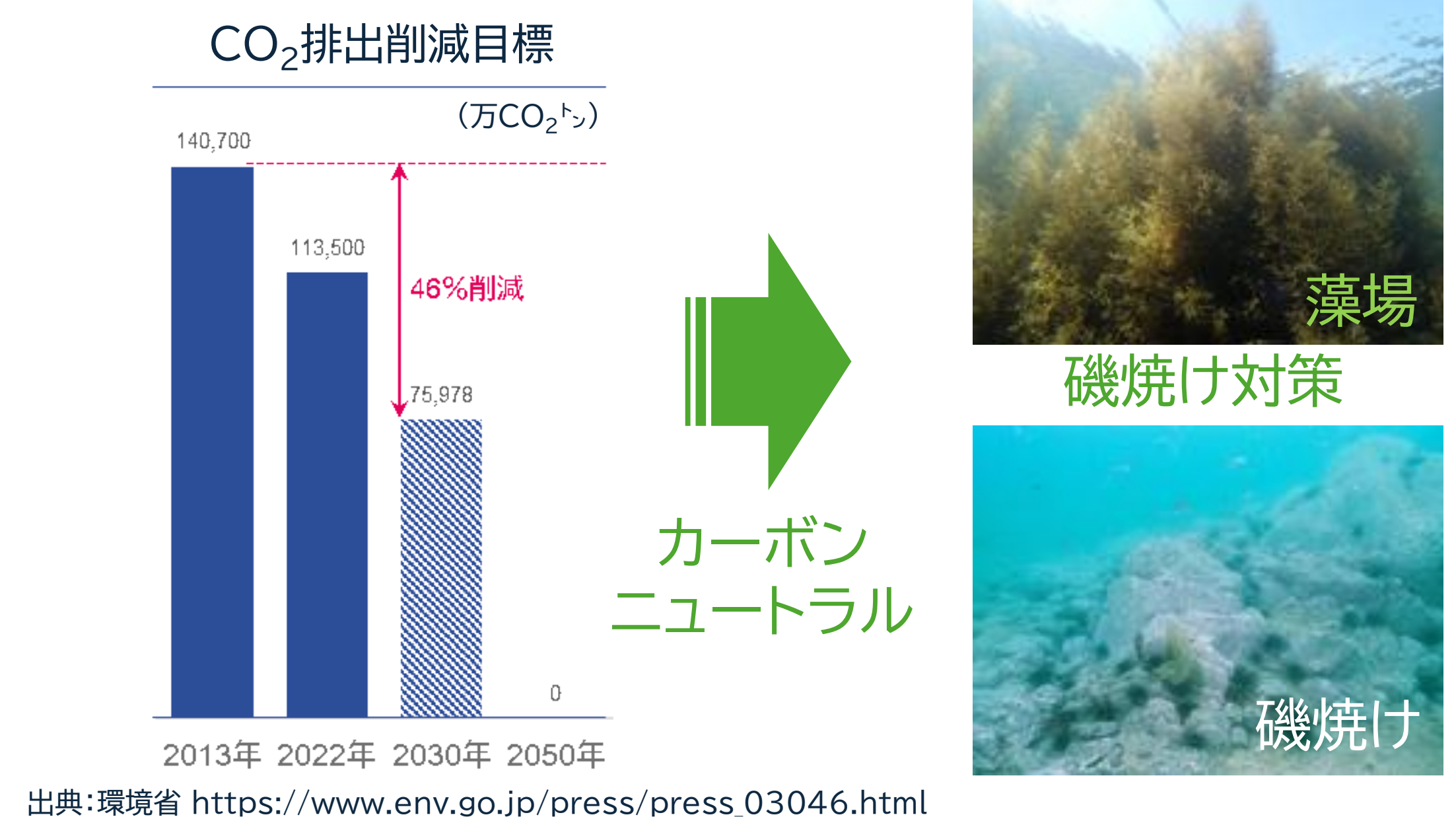
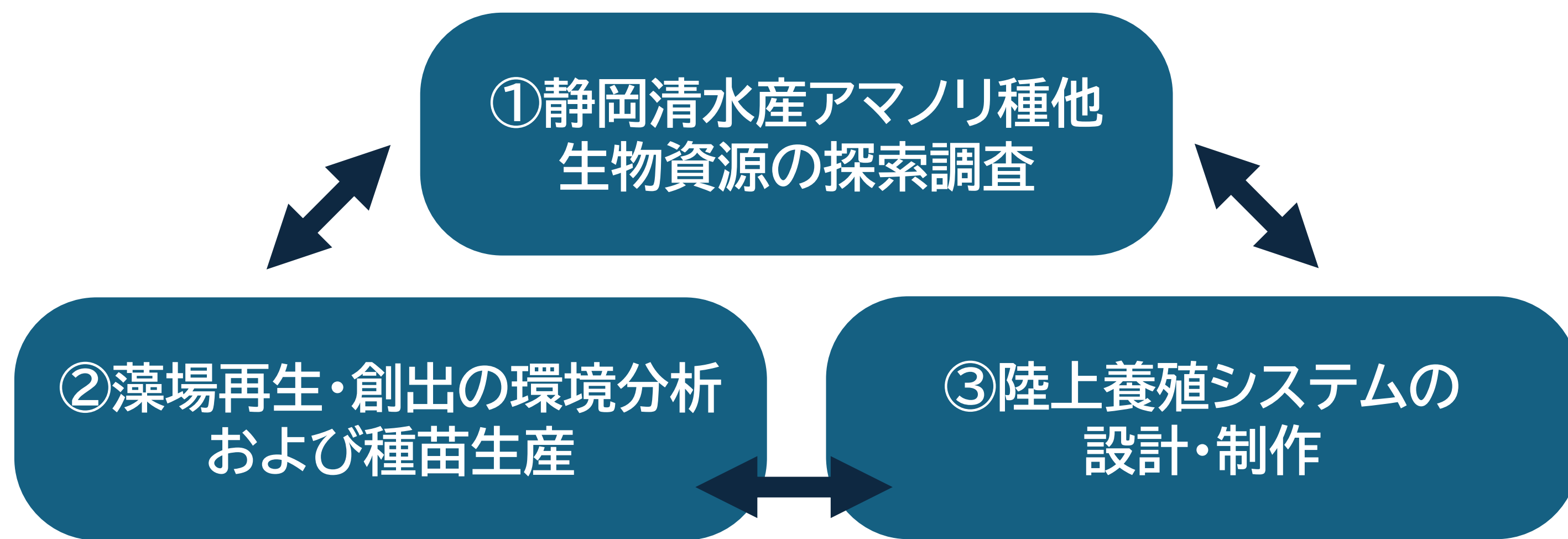
ブルーカーボン分科会①

静岡市清水区で養殖が可能な「紅藻アマノリ」種の選定およびその陸上養殖種苗システムの構築

プロジェクトリーダー: 齋藤 寛(東海大学 海洋学部長 教授)
テーマリーダー: 久保田 徹(株式会社鈴与総合研究所 主任研究員・博士)

【概要(背景と目的)】

研究概略



本テーマでは、清水区折戸湾において紅藻アマノリなどの藻場形成を進めるための事業性のある持続可能な藻場再生プログラムを構築し、藻場の創出およびその沿岸域の生物生産性(漁業資源の確保)を図るとともに、消失した「三保海苔」を復活させ新たな地域特産品の創出を図り、静岡県内の水産業の活性化と地域ブランドの向上を目的としています。

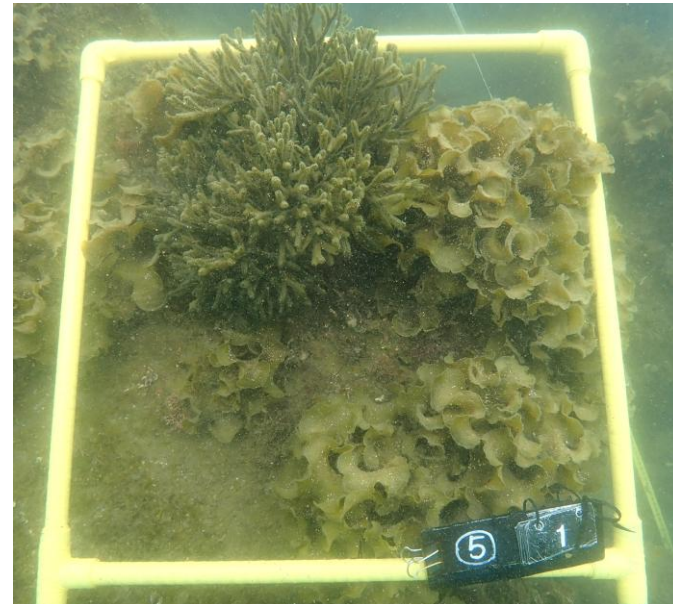
【技術的なアプローチ方法】

①静岡清水産アマノリ種他生物資源の探索調査

ダイバーによる潜水調査



ライン枠観測



アマノリ類の採取



アマノリ類の定着

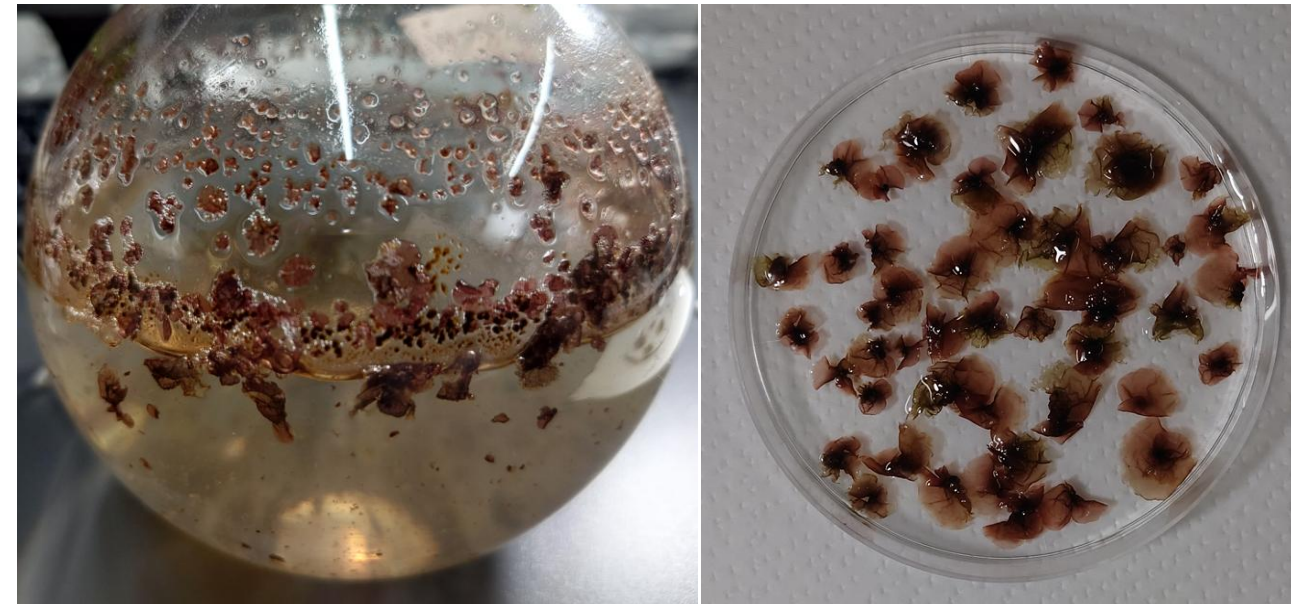


ROV観測

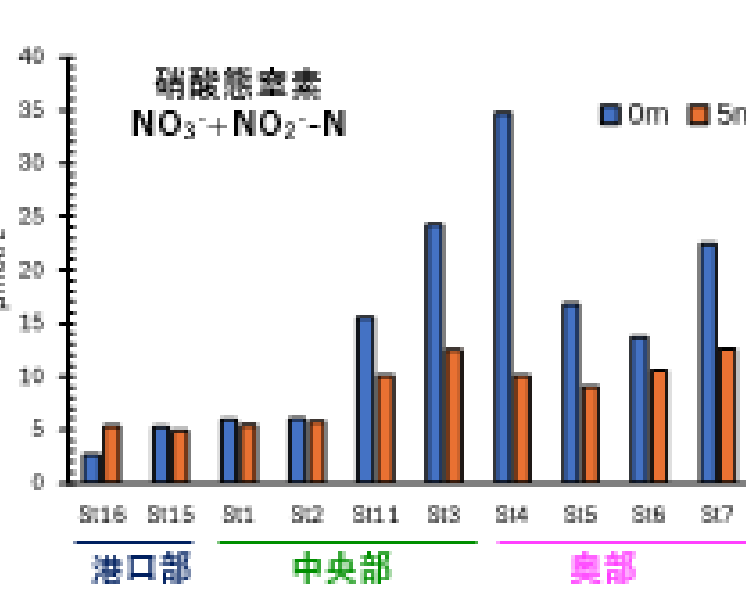


②藻場再生・創出の環境分析および種苗生産

アマノリ類の培養



海域栄養塩の計測



カジメの生育試験

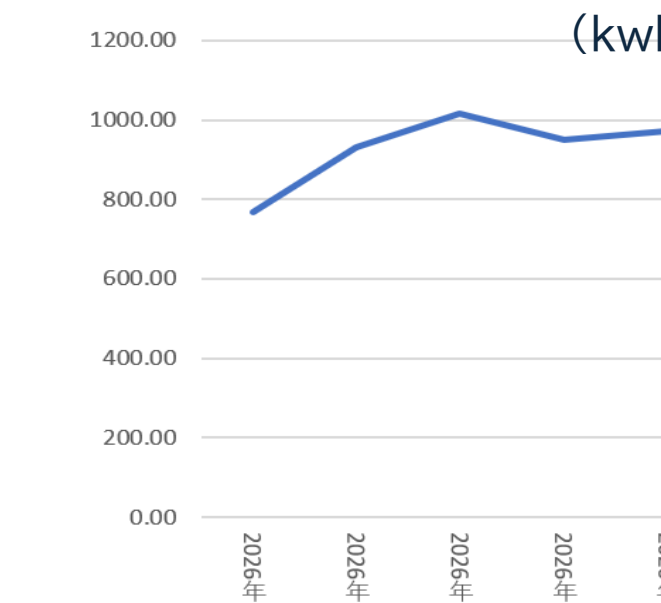


③陸上養殖システムの設計・制作

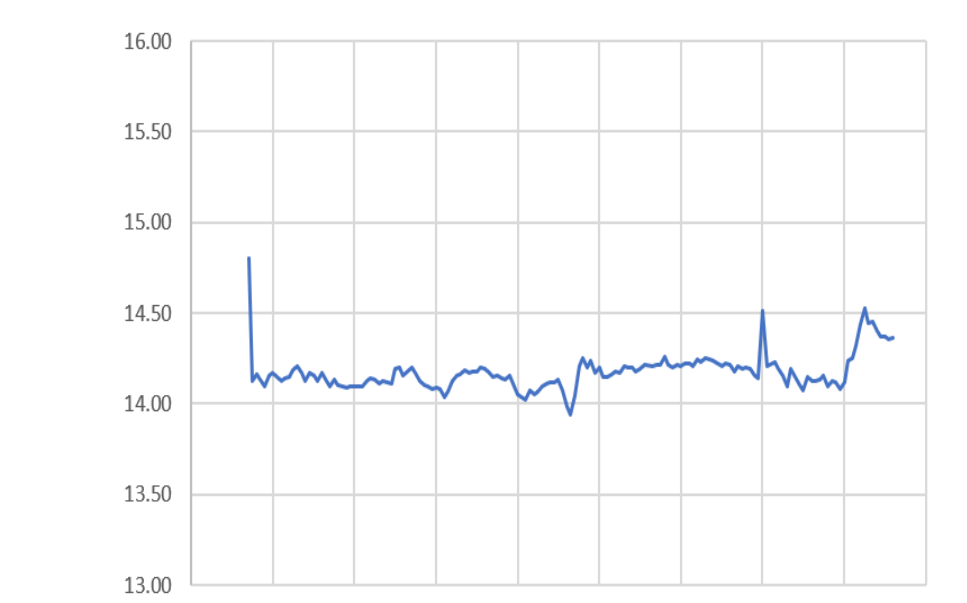
海藻種苗養殖コンテナの設置



使用電力量 (kwh)



水温モニタリング



折戸湾で生息が確認された海藻種を定期調査によって把握し、その母藻を採取、育苗し、静岡県の海藻及び生物多様性を補完する。

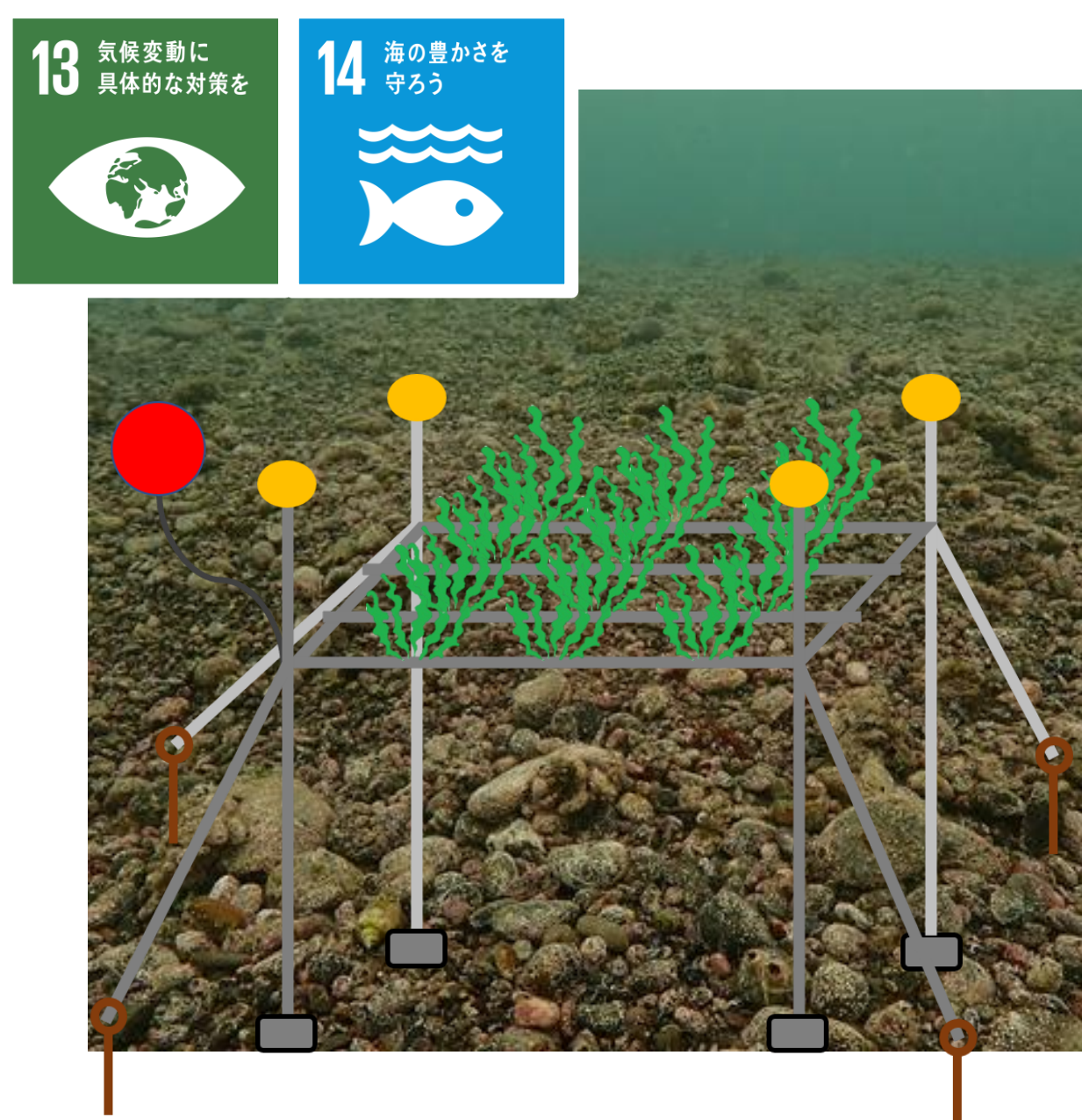
折戸湾特有の海域環境を解析し、そこから湾内環境に適した藻類生育を試験する。また、藻場再生による効果を検証する。

種苗生産に掛かるエネルギーコストを試算し、再生可能エネルギー供給を組み入れた循環型管理システムを検証する。

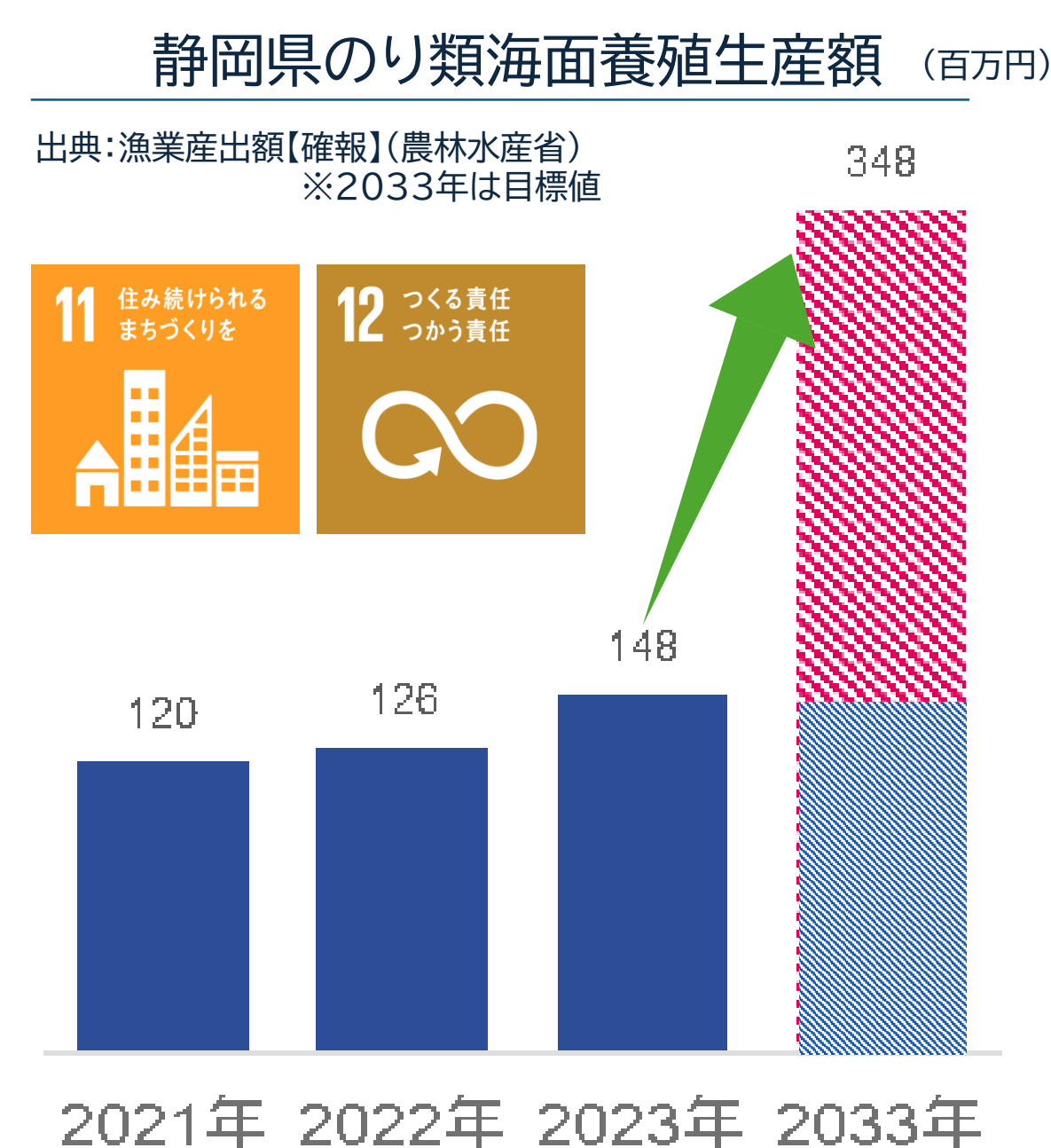
【期待される効果】

海藻養殖の事業化

海洋環境改善・CO₂吸収固定



海洋産業生産額の伸長



海藻養殖の事業化により、創出された藻場によるカーボンニュートラルと海洋環境改善を実現し、また「三保海苔」などの海藻商品による地域経済効果の向上が期待される。

【今後の展望】

2024年度-2028年度
調査・技術開発期間

2029年度-2033年度
事業化検証期間

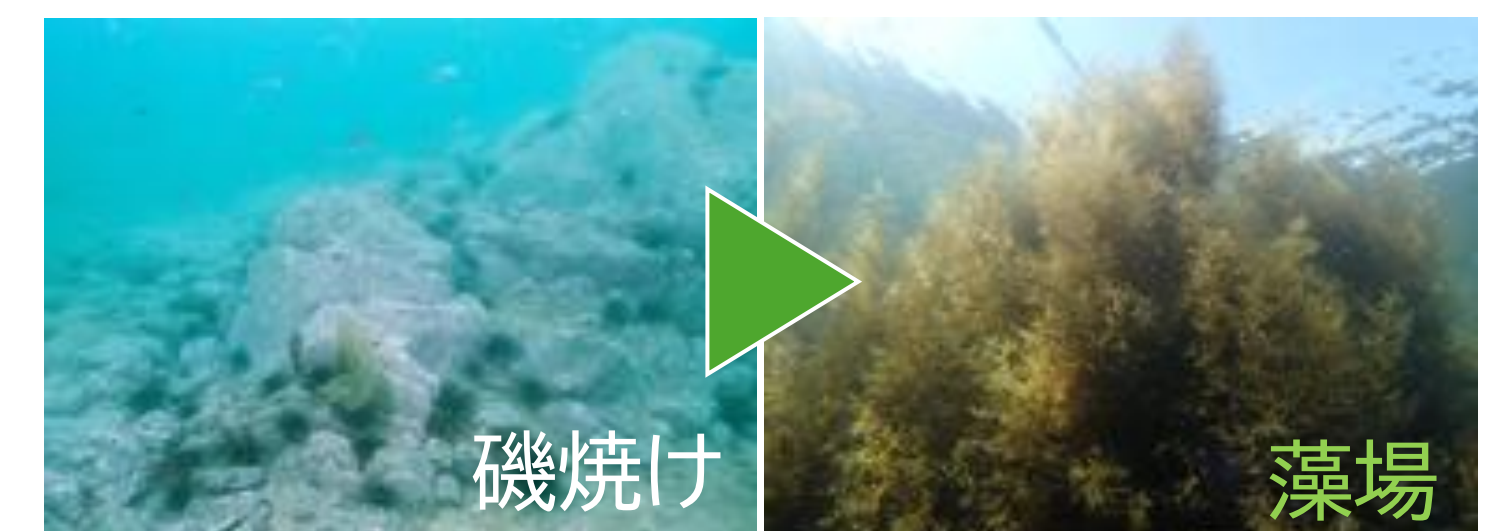
海藻種の補完



海藻種苗生産



藻場再生・カーボンクレジット化して
地元企業へ販売



海藻生産し地域特産品として販売



海藻種を補完し種苗を陸上養殖することで、本地域の藻場保全活動団体等へ種苗販売し、藻場保全活動にてカーボンクレジット化し、地元企業へクレジット販売する。またその種苗で海藻生産を行い、地域特産品として活用する。